

高雄甲第一〇號

高雄甲第一〇四號

淨馮學校合

發付  
十月廿日

主務

三〇四七九  
十月廿日

秘書官

聯帶

明治廿年十月 日

主務

大臣

次官

代理

艦政局長

造船課長佐藤

兵器課長

機測課長

裝課長

高雄艦樁橋改正之件 様復噴

鎮守府へ少司令案

高雄艦樁橋別紙図面之通 改正ス

但改正ニ依テ生ズルノ費ニ増減取調申出

マシ

0906

明治二十年十月廿六日

海軍大臣

横濱鎮守府司令長官宛

附記

普四七一九ノ二高雄艦稅橋變更付參謀本部  
 長ノ回答書中速射砲及電筆燈増備  
 ノ原目下取調中ニテ本文稅橋ノ改  
 正ハ干葉上至急ヲ要スル事此際先ッ  
 本案ノ通リ鎮守府ハ少洲令トシテ御  
 為裁ス

本文四面ニ此ハ艦政局ニアリ  


供養  
大臣

艦政局長

官房記録係

兵部

前

艦政局長印  
關東艦政局長印

四七九  
普  
十月三日

閣

艦政局

海軍本部

參軍第八五

言

嘗以四七九号の以て高堆積  
核機変更之件、其日整會に於り  
衆右の如く、其存否に關し、條は未  
意、且、核機、其米、就、而、以、係  
務、裝、方、に、於、り、核、機、之、由、ら、れ、り、以、り、笑  
干、速、射、砲、及、電、氣、等、事、機、増、強、す、る、事、  
核、機、の、日、日、回、り、冬、季、中、毎、日、は、回、り、合、行、也  
明治三十年十月一日

参謀部部長一品 城に

海軍大臣 伯 西 卿 長 通 殿

0908



言 號 四 二 〇 號

之 經 甲 外 一 四

淨 寫 校 合

發 付 補 九 月 廿 日

主 務 長

主 務 長

普 田 七 九 九 月 廿 日

秘 書 官

聯 帶

明 治 卅 年 九 月 廿 日

主 務

大 臣 次 官 樺 山

樞 政 司 長 國 藏 大 臣

造 船 課 長 兵 器 課 長 機 裝 課 長 主 任 課 長

決 裁 濟

高 雄 艦 裝 帆 之 計 画 變 更 之 義 奉 謀 察 部 札

以 照 案 彙

高 雄 艦 之 裝 帆 其 計 画 二 橋 之 具 へ ス ク

ナ ル 形 ニ シ 延 誤 帆 之 面 積 ニ テ ハ 單 二 裝 帆 而

已 之 以 テ 艦 之 進 退 運 轉 ヲ 為 ス 一 種 ヲ 難

海 軍 部

0910

キ而巳ナラズ淺クハ進行ヲ助クルニモ又不足  
 分ナリ然ルニ本艦ノ計画ハ淺クハ重ニシテ  
 其速力ハ十四ノット余ニシテ双螺旋ヲ有スルカ  
 故ニ進退ヲ過ツノ慮極メテ少ナリ然ルニ本  
 艦ノ重ナル大砲四門ハ上甲板艦外ニ突出シタル  
 砲座ニ据付ケ前及後艦本ニ平行シテ  
 發射シ又播橋ニハ洋砲ヲ搭載スルノ  
 計画ナル処リキニガレ為メ種々設備ニ故障ヲ  
 生シ到底既定計画ニ適リ裝帆ヲ有セシムル  
 モ敢テ其知等ト却テ前線ニ如キ支障有リ  
 且本艦ハ當初計画ニ違ヒ至テ豫定外ニ  
 搭載物兵ヲ増加シ適而多分ニ重量ヲ増  
 居、延幸ニ未ダ播橋ノ製作ニ着手等トシ

0911

事ヲ付於條本船ノ裝帆ハ「リ」カタリノ形ニ變  
更可証見込ニシテ共一應以意見兼知知事  
此項及以照會

廿年九月二十六日

海軍大臣

冬之果本部長

海軍省

0912

備考

吉成甲館 中 辦

艦藏可經甲分一 辦之

市馬 候台

月 日 日 日 日 日

内山 佐野

普六六一  
十月五日

秘書官 (印)

聯帶

立 十月十日

主務

航海局長 (印)

彌野果長 (印)  
主任 渡邊 (印)  
造船課長 (印)  
主任 渡邊 (印)

決裁済

大廣 (印)

次官代理

新高船艦ニ附名裝飾ノ事  
高雄艦首尾ニ彫附名文字ニ並裝飾  
別圖式葉ノ通カテ 程度等任事裁  
決也

外圖ノ如ク 航海局ニ呈送

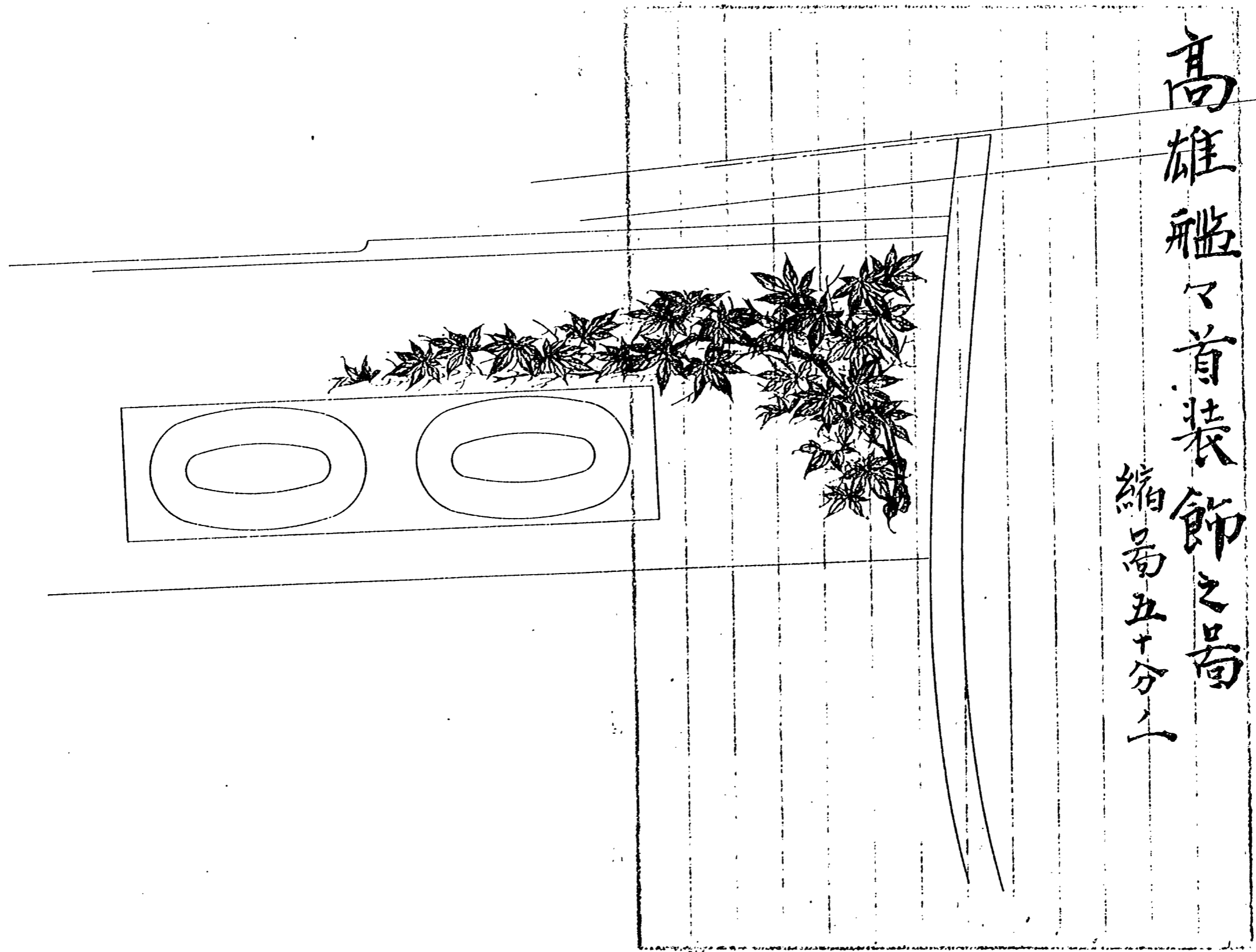
0913





高雄艦マ首裝飾之圖

縮尺五十分一



0915

高雄艦々尾裝飾之局

縮尺五十分一

代 ろ た



0916

供覽

大臣 御印 次官 御印 總務局長 御印

普六六六  
七月八日

總務局

關西濟

總務局 立三九九號

言說乙第 六 號

新嘉坡甲申七年

新嘉坡甲申七年

の庄

目下 勅不 事 中 傷心 山 洋 野  
二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十  
廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十  
四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十  
六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十  
八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

河了平公信壽西下是信

御印

0917



技視報第一号

艦

明治廿二年十月横須賀造船所ニ於テ新造軍艦  
船体并汽機汽罐製造工事現況報告

巡洋艦高雄號

船體部

一石炭庫

一上中甲板張方

一艦首下甲板張方

一首樓甲板張方

一艦首中甲板以下諸倉庫羽目

一諸水防鉄壁

一諸火藥彈丸庫鉄板隔壁

黄頁貨造公所

水兵便所

一砲臺及扉

一水雷発射管金物

一諸ポンプ

一鍍製前後播

一諸端艇デビット

右竣エケ所要点

一諸士官室周囲羽目取付

一上中甲板間水防扉取付

一艦首尾火薬弾丸庫内板取付

一艦首酒庫棚

一艦尾パン粉庫仕切戸

一上甲板士官便所

一水兵便所及水流

一 舷門昇降階子及手摺

一 フリツゲ上コニングタワ

一 シート錨受鉄物

一 キク、ホエル端艇デビット受鉄物

一 舵

一 諸ビルチパイプ

一 石炭庫内スルースバルウ金物仕上ケ

右着手中ノケ所要点

機械部

一 右舷機械陸上組立済

一 左舷機械陸上組立エ事中

一 エヤホンパ用機械陸上組立エ事中

一 コニングソル及諸バルブ美コック類製造中

黄頁中巻(1) 45



本邦海軍造船所

一ドッキングエンジン陸上組立済

一フロンエンジン製造中

一スクルー及スクルーシャフト並キングストンバルブ船体ニ附着済

一小火船用汽機製造中

汽罐部

一罐体陸上工事済

一スモークボックス及属具製造中

一小火船用汽罐陸上工事済

一日用属具製造中

報知艦八重山号

船體部

一外板

- 一石炭庫
- 一汽罐臺
- 一機械臺
- 一首樓甲板
- 一尾樓甲板
- 一コラアダム後隔壁
- 一諸水防鉄壁
- 一諸火藥彈丸庫鉄板隔壁
- 一砲臺
- 一水雷発射官穴
- 一ブリヂ下賄所
- 右竣工ヶ所要點
- 一中甲板諸士官室周圍羽目取付

黄頁中巻全序

0923

一 艦尾火薬弾丸庫上部中甲板張り方

一 艦首火薬弾丸庫上部中甲板填隙方

一 艦首尾火薬弾丸庫内板工事

一 スタアリンケユブ取付工事

一 スクルーブラケット工事

一 田材

一 舵及舵取装置

一 ビルゲホンプ

一 水防壁附属水防扉

一 諸傳話管

一 諸舷窓金物

一 上甲板張り方及削り方

一 上甲板上艦尾士官室羽目及戸製造方

一 上甲板上下土便所羽目及戸製造方

一 補助機械基盤

一 コラアタム内へセルロース入方

一 汽罐室用送風器工事

右著手中ノケ所要点

機械部

一 スクルー及キングストンバルブ船体附着準備中

海防艦橋立部

船体部

一 防禦甲板下船首尾ヲ除キ總体ノ九分通り肋材

組立著手中

一 船底最下部ニ於テ外板十数枚取付工事

清原實造 全序

木 外 丸 並 角 口

一 防 禦 赤 甲 板 以 下 水 防 隔 壁 工 事

一 組 立 済 ヲ ケ 所 締 止 ノ ノ 為 ノ 塗 方

右 着 手 中 ノ ケ 所 要 点

機 械 部

一 左 舷 低 圧 シ リ ン ド ル 鑄 造 済

一 右 舷 低 圧 シ リ ン ド ル 模 型 製 造 中

一 ホ ッ ト ウ エ ル 模 型 製 造 中

一 コ ン デ ン シ ン 模 型 製 造 中

一 ス ラ イ ト バ ル ブ 仕 上 ケ 工 事 中

一 コ ン 子 ク チ ン グ ロ ッ ド 仕 上 ケ 工 事 中

一 ク ロ ー ス ヘ ッ ド 仕 上 ケ 工 事 中

汽 罐 部

一 フ ォ ル 子 ー ス 製 造 中

一コンバツシヨニチヤバー制衣造中  
一フロント及ベツキプレート制衣造中

右報告候也

造船部視察員

明治卅一年十月三十一日

海軍大技監赤峰伍作  
海軍少技監高山保綱

高山保綱

黄頁寶是令存

0927



艦政局長

參謀長

參謀

参謀

技視報第二号

明治廿二年十月横須賀造船所ニ於テ新造軍艦

船体羌汽機汽罐製造工事現況報告

十月五日佳(津)申奉由

巡洋艦高雄号

船体部

一諸士官室周圍羽目板取付

一上中甲板間水防扉取付

一艦首酒庫棚

一艦尾ハニ粉庫仕切戸

右竣工ヶ所要點

一上甲板士官便所

一水兵便所及水流

大員

次官

横須賀造船所



木須丸若舟

一 艦門昇降階子及手摺

一 ブリヂ上コミニクタワー

一 シート錨受鉄物

一 ギグ、ホエル端艇デット受鉄物

一 舵

一 諸ビルヂパイプ

一 石炭庫内スルースバルブ金物仕上ケ

一 前後火薬庫木被板張方

一 前部警言吏室羽目板及引戸

一 ブリヂ上ハンモック板木取

一 中甲板機械室ハツケ隔板及水雷工業室

一 中甲板水兵衣囊箱取付

一 艦長及准士官室寢甚室及引出

0930

一 中甲板艦長便所及湯殿  
一 中甲板機関工業室  
右着手中ソケ所要地点

機械部

一 左舷機械陸上組立工事中  
一 エヤポンプ用機械陸上組立工事中  
一 コンデンソル及諸バルブ在ニコソク類製表造中  
一 フニマニシ制表造中  
一 小汽船用機械製表造中  
汽罐部  
一 汽罐陸上焚試し準備着手  
一 小汽船用汽罐屬具製表造中

黄頁製表部

0931

本類考並舟可

報知艦八重山号

船体部

一 艦尾火薬彈丸庫上部中甲板張リ方

一 円上 填隙方

一 上甲板張リ方

一 下甲板三長室倉庫

右舷エケ所要点

一 中甲板諸士官室羽目板取付

一 スタルニチユトフ取付

一 スクルーブラケット工事

一 四材

一 舵及舵取仕衣置

一 ビルジホニア

一 水防壁附属水防扉

一 諸傳話管

一 諸舷窓金物

一 上甲板艦尾諸室羽目板取付

一 上甲板前部下士便所及水流

一 補助機械基

一 コファアラム内セルロース入方

一 汽罐室内送風器工事

一 艦尾端艇デビット受鉄物取付

一 スチムウインドラス据付

一 後部汽罐室昇降口扉並ニエマロク

黄頁製巻公所

0933

木多ク、並舟可

一 中甲板三長室羽目板

一 機械室及警言吏室窓製造ノ上取付

一 機械汽罐室水防扉製造

機 械 部

一 スクルー及キングストバルブ船体附著準備中

海防艦橋立号

船 体 部

一 防禦甲板下船首尾ヲ除キ總体ノ九分通リ肋材

組立方

一 船底外板數十枚取付

右竣エケ所要点

一 防禦甲板以下水防隔壁

一 防御甲板以下両舷石炭庫  
一 組立済ノケ所縮半ノ為ノ金方  
右着手申ノケ所「要」点

機械部

一 左右舷低圧シリンドル製衣造工事中

一 ホットウエん 日

一 コンデシフル 日

一 スライドバルブ 日

一 コニ子クネングロツド 日

一 クロースヘッド 日

汽罐部

一 フェル子ース製衣造工事中

一 コーバスシヨニチエニバー 日

黄頁買込公行

0935

木須丸造舟可

一フロント及ベツキプレート製造中

一セルプレート制衣造着手

右報告候也

造船部視察宗貞

廿年十月三十日

海軍大技監赤峯位作  
海軍少技監高山保綱

造船部長遠式秀行殿

為差進達候也

三十五年五月四日

造船部長遠式秀行

鎮守府司令長官中牟田倉之助殿



0936

參謀長

勅

艦政局長

勅

勅

勅

勅

陽三十卷第十九

十一月十四日追津

高雄汽機陸上汽力試験成績函

本航汽機陸上工事概未竣工付本月八日極美試験

往復

法官考査等事其條々海軍艦政局長負之旨陸上汽

力試験執行に及各部が陸上結果良好なる

此後より同様

造船所長遠武秀行

印

揚子兵船奉行目長友子中野田君の助

供覽  
大臣

次官

印

海軍

0937



一月九日進奉

艦政局長

忠田

參謀部

横領告

參謀長

參謀

櫻井

工部視察報告書進呈

別紙工部視察報告書進呈

多

昭和二年二月八日

造船部長遠谷秀行

遠谷秀行印

鎮守府日佐長佐中尾高之助殿

供覽  
官

閱覽濟

海軍省

二月廿日  
二月廿日  
二月廿日

0938

明治<sup>廿一年一月</sup>横須賀造船所<sup>ニ於テ</sup>新造軍艦  
船体並<sup>ニ</sup>汽機汽罐製造工事現況報告

巡洋艦高雄号

船体部

上甲板士官便所

前部敬言吏室羽目板及引戸

ブリッジ上コーニングタワー

中甲板水兵衣囊<sup>ハ</sup>箱取附

准士官室寢<sup>室</sup>基及引出

中甲板艦長寢室中テーブル及寢<sup>室</sup>基

汽罐積込<sup>ハ</sup>ホニマスト立方

横須賀造船所

0939

楫鋏打方及附属鉄物

左右石炭庫スルースバルブ

右竣工ノ所要点

前後火薬庫木被板張方

諸端船架附属鉄物仕上及取付

水兵便所バルブ仕上及取付

舷門昇降階子及手摺

シート 錨架鉄物

中甲板水防扉附属品

キク、ホユル 端艇デビット受金物

フリジ上ハンモック板及海図基造り方

中甲板左右石炭落シ口鉄物及扉

中甲板水雷発射門取石炭入口鉄物

右列ノ所ニテ

0940

中甲板機関工業室

中甲板機関室ハッチ隔板及水雷工業室

汽罐室ニ重船底上ヘセメント入方

上甲板賄所后部スカイライト蓋造り方

中甲板艦長湯殿及便所

前部水兵食器及手箱棚製造

諸ビルゲパイプ

右着手中ノケ所要点

機械部

フハンインゲン製造中

小汽船機械製造中

楯機高低両壓シリンドル並ミフレーム艦内据付工事

海軍省造船部

汽罐部

小汽船汽罐属具製造中  
汽罐艦内ニ据付工事  
中  
汽罐陸上焚試シ濟

報知艦ハ重山号

船体部

中甲板諸士官室羽目板取付  
機械室及警言吏室窓製造ノ上取付

スチームウインドラス据付

水防壁附属水防扉

上甲板前部下士便所及水流シ

補助機械基

0942

一 フォーミンググスタンション  
 一 カッタ、デングリ艇デビット及附属鉄具  
 一 中甲板下石炭庫内底板張方  
 一 後部汽罐室昇降口、扉並ニエヤロク  
 右 着手中中ノケ所要点

機械部

一 スクルー及キングストンバルブ艦体附着工事中  
 一 シヤフトチユーブ削リ方

汽罐部

汽罐陸上焚試準備中

傳真資料

0943

海防艦橋立号

船体部

防禦甲板以下両舷石炭庫

右 竣ユケ所要点

防禦甲板以下水防隔壁

組立海ノケ所銘止メノ為メ塗方

外板張り方

甲鉄甲板張り方

右 着羊中ノケ所要点

機械部

左右舷シリンドル製造中

ホットウエル 全

艦尾端デビット受金物

中甲板三長室羽目板

中甲板下士官食庫内板、羽目及戸製造

右 竣エケ所要点

艀及艀取仕置

上甲板艦尾諸室羽目板取付

機械汽罐室水防扉製造

スタルンチユーグ取付

スクルーブラケット工事

田杖

ビルジポンプ

諸傳話管

諸舷窓金物



コフアーダム内へセルローズ入レ方

汽罐室内送風器工事

上甲板上ブリジ船取室羽目製衣造

船尾角窓戸製衣造

ホツクスル上手摺製衣造取付

スカッパー取付方

水雷室窓枠製衣造ノ上取付

後部火薬庫及弾丸庫内板張り方

後部火薬庫内キングストン穴明及在製衣造方

汽罐前後エヤロック戸製衣造

中甲板西石炭庫スルイスバルブスピンドル製衣造

諸管装衣置

艦尾上甲板上艦長用諸戸棚造方

0946

コンデンソル 合

スライドバルブ 合

コネクティングロード 合

クルースヘット 合

汽罐部

フオルネース製造中

フロント及びベッキプレート 合上

コンバシヨシヤシバル仮組立

シユルプレート 合上

右報告候也

造船部視察員

廿二年一月廿一日

海軍大技監赤峰位作

海軍少技監高山保細





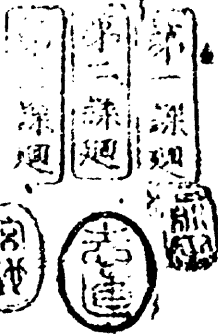
閱覽濟

供覽

第二局長



横鎮第五〇六九號



之石碑新造工中事 辰年

石中

此石碑新造工中事 辰年十月十日  
辰年十月十日 辰年十月十日  
辰年十月十日 辰年十月十日  
辰年十月十日 辰年十月十日

但此碑新造工中事 辰年十月十日  
辰年十月十日 辰年十月十日  
辰年十月十日 辰年十月十日  
辰年十月十日 辰年十月十日

0949

海軍

明治三十四年十一月廿九日

横須賀鎮守府司令官長官 藤田 禮長



海軍大臣伯爵西郷從道殿

0950

供覽

不供供覽

十一月十八日

參謀

第二高長

第一局長

會計局長

高長考

一七〇

軍艦高

日進建

軍艦高

御用

第一課

後藤

軍艦高雄

品末備付

御用

第一課

後藤

但

艦籍表

船體製造目錄

船體圖

船體重心表

錨及鎖表

諸船重量及端船架

機製製造目錄

機製圖

右者今般造船部より引渡相成に請取候

壹枚

壹冊

拾壹枚

貳枚

壹枚

壹枚

壹冊

拾八枚

0951

條此段御届仕候也

明治二十二年十一月十六日

高雄艦長 山本權兵衛



横須賀鎮守府司令長官 金子對仁禮 景範 殿

追而水艦小工事仕残之分、本艦之都合依り  
追而着手相成様造、船部長、協議致候  
條併御届仕候也

0952